

問1 喜望峰経由の航路が開拓されたことで、ヨーロッパと直接貿易ができるようになった地域はどこ？

1. アメリカ 2. ヨーロッパ 3. アフリカ 4. アジア

問2 安土桃山時代において、支配者の富と権力を内外に示すために豪華な装飾が施された建築物を何という？

1. 書院造 2. 城郭 3. 茶室 4. 寝殿造

問3 マゼランの艦隊が史上初めて成功させた、地球をぐるりと一周する航海を何という？

1. インド航路開拓 2. 大西洋横断 3. 世界一周 4. 新大陸発見

問4 歴史的な価値が認められ、国際的に保護の対象として登録された場所を総称して何という？

1. 世界遺産 2. 重要文化財 3. 史跡 4. 国宝

問5 15世紀後半から17世紀にかけて、ヨーロッパ人がアジアへの新しい航路を求めて探検し、世界の地理的認識が広がった時代を何という？

1. 宗教改革 2. 市民革命 3. 産業革命 4. 大航海時代

問6 安土桃山時代に活躍し、城郭の内部を飾る豪華な障壁画を描いた代表的な絵師は誰？

1. 尾形光琳 2. 長谷川等伯 3. 狩野永徳 4. 雪舟

問7 室町時代末期、種子島にポルトガル人によって伝来し、日本の戦術を大きく変えた兵器を何という？

1. 鉄砲 2. 弓矢 3. 槍 4. 刀

問8 プロテスタントの拡大に対抗するため、カトリック教会が設立した組織を何という？

1. ベネディクト会 2. イエズス会 3. ドミニコ会 4. フランシスコ会

問9 鉄砲がポルトガル人によって日本に伝えられた時期はいつ？

1. 16世紀終わり 2. 17世紀半ば 3. 15世紀初め 4. 16世紀半ば

問10 検地において、土地の生産力を米の収穫量に換算した単位を何という？

1. 地租 2. 年貢 3. 石高 4. 小作料

問11 桃山文化を代表する画家で、城郭の障壁画などに金箔を多用し、華やかで力強い作品を残した人物は誰？

1. 狩野永徳 2. 長谷川等伯 3. 俵屋宗達 4. 狩野山楽

問12 豊臣秀吉が1590年に征伐し、全国統一を達成する最後の決め手となった関東の大家を何という？

1. 伊達氏 2. 北条氏 3. 大友氏 4. 島津氏

問13 16世紀のドイツで、カトリック教会が販売していた、罪が許されるという証書を何という？

1. 贖宥状 2. 聖職売買 3. 異端審問 4. 免罪符

問14 鉄砲の伝来によって大きく戦術が変容し、地方の武士団が争いを続けた時代を何という？

1. 鎌倉時代 2. 江戸時代 3. 戦国時代 4. 安土桃山時代

問15 15世紀から16世紀にかけて、ヨーロッパの人々が未知の海域や大陸を目指して海外へ進出した時代を何という？

1. 宗教改革 2. 大航海時代 3. ルネサンス 4. 産業革命

答え合わせ・解説

問1	答え 4 アジア	喜望峰を通るルートの発見により、ヨーロッパの商船は直接アジアの港に寄港できるようになりました。これにより輸送コストが下がり、効率的な物流網が構築されました。
問2	答え 2 城郭	安土桃山時代の城郭は、高い石垣や天守閣を備えた壮大な建築物であり、内部には金箔を貼った障壁画などが飾られました。豊臣秀吉の大坂城などが代表的で、当時の高い建築技術や芸術性を伝えています。
問3	答え 3 世界一周	1519年に出発したマゼラン艦隊は、南アメリカ大陸の南端にある「マゼラン海峡」を発見し、そこを抜けて太平洋へと出ました。補給不足や病気といった困難に直面しながらも、フィリピンを経てインド洋を通り、大西洋を北上してスペインへ戻りました。
問4	答え 1 世界遺産	世界遺産には、建造物や史跡などの「文化遺産」と、自然環境を守る「自然遺産」があります。ユネスコがその選定を行い、該当する場所は世界中で共同管理されます。石見銀山のように、かつての産業遺構が人類の歴史を示す重要な場所として指定されることもあります。
問5	答え 4 大航海時代	ポルトガルやスペインなどを中心に、羅針盤や大型帆船など航海技術が急速に発達しました。これにより、バスコ・ダ・ガマによるインド航路の開拓や、コロンブスによる新大陸への到達、マゼラン艦隊の世界一周などが相次いで行われ、世界が海路で結ばれました。
問6	答え 3 狩野永徳	狩野永徳は狩野派の絵師として、織田信長や豊臣秀吉に仕えました。金地を背景に力強い筆致で描かれた『唐獅子図屏風』や、大坂城の障壁画などが有名です。その作品は華やかさと威圧感があり、桃山文化の象徴となりました。
問7	答え 1 鉄砲	鉄砲は、それまでの弓矢や接近戦主体の戦い方とは異なり、訓練次第で誰でも強力な威力を発揮できる画期的な武器でした。日本国内ですぐに模倣生産が始まり、爆発的に普及しました。
問8	答え 2 イエズス会	1534年にイグナチオ・デ・ロヨラによって設立されたのがイエズス会です。カトリックの勢いを盛り返すため、規律を重んじる厳格な教育や、アジア・アメリカ・アフリカなど世界各地での積極的な海外布教を行いました。
問9	答え 4 16世紀半ば	1543年、種子島に漂着したポルトガル人によって鉄砲がもたらされました。これは「16世紀半ば」の出来事として日本史の大きな転換点となりました。当時、火薬の原料である硝石などは自国で十分な量を確保できなかったため、南蛮貿易を通じて輸入することが極めて重要でした。
問10	答え 3 石高	豊臣秀吉は検地を行う際、土地を「田・畑・屋敷地」に分け、その土地がどれくらいの米を収穫できるかを調査しました。この「石高」は、単なる収穫量だけでなく、大名が所有する領地の広さや、家臣に与える給与の基準としても使われるようになりました。1石は約180リットル（約150kg）に相当します。
問11	答え 1 狩野永徳	狩野永徳は、狩野派の絵師として活躍し、金箔をふんだんに使った『唐獅子図屏風』などの名作を残しました。当時の権力者である織田信長や豊臣秀吉から重用され、安土城や大坂城の障壁画を描くなど、桃山文化の華やかな気風を象徴する役割を果たしました。
問12	答え 2 北条氏	豊臣秀吉は天下統一を目指し、全国の大名を従わせていきました。1590年、小田原城を拠点に勢力を誇っていた北条氏を討つために大軍を派遣しました。この小田原攻めにより北条氏が滅亡したことで、秀吉による実質的な全国統一が達成されました。この出来事は、戦国時代が名実ともに終わりを告げた象徴的な出来事として歴史に記録されています。
問13	答え 4 免罪符	ドイツのルターは、信仰の救いは神の慈悲によるものであり、金銭で罪が許されるとする教会のあり方を強く批判しました。この免罪符への疑問が宗教改革の直接のきっかけとなりました。
問14	答え 3 戦国時代	戦国時代は、各地で地域的に有力な武士（戦国大名）が領国支配を進めた時代です。1543年の鉄砲伝来により戦術が一変し、大規模な歩兵による集団戦が可能となりました。織田信長をはじめとする強大な大名が登場し、全国統一を目指して激しい攻防を繰り返しました。
問15	答え 2 大航海時代	この時代、航海技術の向上により、ポルトガルやスペインなどの国々が世界各地へ航海を行いました。彼らはアフリカ回りや大西洋横断ルートを開拓し、日本を含むアジア地域とも直接的な接触を始めました。